

# 経和会会報

発行 埼玉大学経済学部同窓会 経和会会長 田坂 敏幸 / 編集 広報委員長 古屋 久昭  
さいたま市桜区下大久保255番地 TEL 048-858-9218 (印刷：望月印刷㈱)

経和会ホームページをご利用ください

URL <http://www.keiwakai.net>

メール [webmanager@keiwakai.net](mailto:webmanager@keiwakai.net)

## 経和会総会が埼玉大学大学院のある 東京駅サピアタワーで開かれました。

(平成24年7月14日)

5年ぶりの東京開催でした。第Ⅱ部の講演会ではJR東日本で「SUICA」を開発され、世界的に知名度の高い本学卒業生の椎橋章夫さんに講演をお願いしました。NHKのプロジェクトXにも出演された椎橋さんのSUICA開発やその後の爆発的な発展過程、エピソードなど興味深いお話に、参加者全員が熱心に聞き入っていました。

今回は東京駅構内に隣接するサピアタワーで開催されたこともあり、金沢など地方からの参加者もあり、女性のOGや現役学生の姿も多く見受けられました。



講演する椎橋章夫氏



挨拶される薄井学部長(左)と執行部の先生方



熱心に聞き入る参加者



参加された女性の方々



懇親会風景

平成25年度

## 経和会総会の ご案内

一 日時 平成25年7月13日(土)

● 総会…13時～14時(受付開始12時30分)

● 講演会…14時～15時

● 懇親会…15時15分～17時

二 住所 埼玉大学大久保キャンパス

住所…さいたま市桜区下大久保255

電話…048(858)9218

● 総会…経済学部A棟5階

● 懇親会…A504講義室

三 講演会 大会議室

演題 『夢心志』

講師 PBメーカーからの脱皮

齋藤 洋氏 NSファーフアジ

ヤパン株式会社(旧ニッサン石

鹼)前会長

昭和40年3月文理学部経済学科

卒業後、日本油脂に入社。その

後系列のニッサン石鹼の社長・

会長として経営に取り組み、見

事回復を果たした。(ニッサン

石鹼は近年NSファーフアジヤ

パンに社名変更しています。)

四 懇親会会費 5,000円

(現役学生・院生は無料です)

五 交通手段

● JR京浜東北線「北浦和駅」より、埼

玉大学行きバス乗車15分程度

● JR埼京線「南与野駅」より、埼玉大

学行きバス乗車10分程度

● JR埼京線「南与野駅」より、タクシ

ー乗車では料金は1,000円程度

六 出席 6月28日(金)までに、同封の「は

がき」にてお申し込みください。

# 新たな経和会活動を目指して

経和会長 田坂 敏幸（昭和47年卒）



経和会が誕生して今年で30年が経ち、文学部、経済学部の卒業生会員と現役学生会員を合わせて1万3000名を超える同窓会になりました。ここまで来られたのも役員を務められた先輩諸氏と会員の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、今までの活動を振り返ってみますと、経和会報も今回で16号を迎えました。当初は原稿が集まらずに苦労しましたが、最近は内容も充実してきました。また、終身会費納入の働きかけが進まないうち、財務状況の中、会員名簿を第4号まで発行しています。OB間の交流にはもちろんのこと、学生会員には無料で配布して就職活動にも役立ててもらっています。また、ホームページを立ち上げ、情報発信にも努めてきました。

ここ数年は学生の就職支援にも力を入れ、3年生向け就活セミナーや保護者を対象にした就職支援セミナーを行っているほか、全学で行われている就職相談にも3名の卒業生がカウンセラーとして参加しています。

この経和会をさらに発展させていくために、今後、次のような企画を考えています。皆様のご意見、ご協力を得ながら、実現に向けて活動していきたいと思っております。

1. 5学部同窓会からなる埼玉大学同窓

会の一員として全学の交流会を都内で開催したいと考えています。大学が行うホームカミングデーと隔年交代で開催できればと考えています。

なお、今年は11月2日にホームカミングデーが開催される予定で、卒業生による講演会が企画されています。埼玉大学同窓会も協賛します。最近の埼玉大学を知る機会でもありますので是非大学へ足をお運びください。

2. 経済学部ではグローバル人材の育成に注力していますが、学生向けに「卒業生によるセミナー」を年4回程度開催する方向で、経済学部と相談しています。将来は単位が認められる寄附講義に発展させたいと夢を描いています。

3. 卒業生に対する企画として、東京駅のサピアタワーにある埼玉大学東京ステーションカレッジにて講演会の開催を検討したいと思っています。講師は学部の先生方をはじめ卒業生を考えています。こんな内容の話が聞きたいなどのご意見を是非事務局までお寄せください。

4. 学生に対しては、海外留学する学生向けの支援施策を将来考えたいと思っています。そのためには現状の財務状況では十分とはいえないので、留学生支援基金立ち上げなどを今後の課題として捉えています。

最後にこれらの企画を実現するために、財務状況の改善・強化が欠かせません。終身会費をまだ納入されていない方には振込用紙を同封しておりますので、是非会費の納入をお願いいたします。

# 前経和会長・故内藤勝久氏を悼む

経和会長 田坂 敏幸

昨年8月4日に北アルプス燕岳で亡くなられた前経和会長・故内藤勝久様を悼み、ここに追悼の辞を述べさせていただきます。

内藤さんと私は昭和47年4月に初めてお会いしました。当時の住友海上火災保険に入社した私たち経済学部卒の3人に埼玉大学OBの先輩方々が開いてくれた歓迎会の席でした。それから、40年以上に亘って大学の先輩、会社の先輩として公私にわたって面倒を見てくれた心の温かい兄貴のような先輩でした。

前会長は常に熱きところと夢をもって大学を愛し、会社を愛し、そして山を愛して一生涯を尽くしてこられました。経和会の活動についても平成6年当時の田中一盛学部長から卒業生名簿発行の要請を受け、一時途絶えていた活動を伊藤正昭元会長とともに働きかけを行って再生し、名簿の発行、会報の発行、ホームページの開設などを矢継ぎ早に行うなど今日の礎を作られました。平成16年から3年間、伊藤会長のとを継がれ会長として経和会の組織強化を行い、私たち後輩を引っ張ってくれました。その後、埼玉大学同窓会連合会長としてもご尽力され、同窓会活動を通じて大学の発展に多大な貢献をされました。

また、内藤さんは埼玉大学ワンダーフォーゲル部のOBたちと荒川の源流にブナやミズナラを植え、緑のダムを作ろうと「百年の森づくりの会」を立

ち上げ山火事で荒れた秩父の和名倉山に植林を始めました。「自分の世代だけではなく100年にわたって子どもたちに受け継ぐ植林活動を行うんだ」との熱き思いが込められた会の名称です。

一方で環境問題にも積極的に取り組み、会の総会では環境活動に熱心な方を招き、私たち会員への環境教育を行ってくれました。その中の一人、宮城・気仙沼市のカキ養殖漁師・畠山重篤さんとの出会いは一生忘れられません。「森は海の恋人」をキャッチフレーズとして漁師が森に木を植えることの大切さを実践している方です。出会いの翌年2月、同じワンダーフォーゲル部OGである奥様の千世子様共々、気仙沼の畠山さんを訪れ、カキの養殖筏まで行き、カキのえさとなるプランクトンの発生を目の当たりにした感激はひとしおでした。

愛する山で生涯と閉じられた内藤さんには日本百名山踏破、キリマンジャロ登頂などご自宅の囲炉裏を囲んでよく山のお話をお聞きしましたがこれから聞けなくなっただけに誠に残念です。

最後に、どうぞ天国から経和会活動をお守りください。ほんとうにありがとうございました。

合掌



在りし日の内藤前会長（左）

# 平成25年3月卒の就職状況

3月に卒業した268名の就職状況（25年3月4日現在）は下記のとおりである。例年同様、公務員および金融業界への就職率が高く、公務員50名、金融62名となっている。公務員では昨年0であった埼玉県庁が7名と多くなったことが目を引く。Uターンが多く、地方の県庁、市役所に14名が就職している。

一方、金融では全国ブランドの金融機関が少なく、地方金融機関へ19名が決まっている。製造業では昨年、食品や医薬品が増えたが今年は少なく、大手製造業は今年も少ない。大学および学部が目指している国際化にかけ離れた就職の実態である。これは大学主催の企業説明会への経済学部生の参加が少ないとの指摘もあり、学生の業界選び、企業選びにも問題があるのではないかと、学部および経和会がもう少し関与してもよいかもしれない。

今年も公認会計士4名が合格している。

## 平成25年3月卒 主な内定先リスト（平成25年3月4日現在）

|               |            |             |             |                  |
|---------------|------------|-------------|-------------|------------------|
| <b>公務員</b> 50 | 三井住友       | フコクしんらい生命   | <b>サービス</b> | さいたま商工会議所        |
| 埼玉県庁 7        | フィナンシャル 2  | 1           | 東日本旅客鉄道 2   | 1                |
| さいたま市 3       | 日本郵政 2     | UCカード 1     | 日本放送協会 1    | 船井総研 1           |
| 埼玉県内市役所 12    | 商工組合中央金庫   | 三井住友オート     | 豊田通商 1      | マイナビ 1           |
| 東京都 1         | 2          | サービス 1      | 日本紙パルプ商事    | スタジオアリス 1        |
| 東京都特別区 8      | 中央労働金庫 2   | イオンクレジット    | 1           | 丸全昭和運輸 1         |
| 埼玉県警 2        | 地方金融機関 15  | サービス 1      | 日清医療食品 1    | 日本旅行 1           |
| 県庁(山形、福島、     | SMBC日興証券 1 | オリックス 1     | シダックス 1     | ベネッセスタイル         |
| 栃木、千葉、神奈川)    | 野村證券 1     | <b>製造業等</b> | ユニクロ 1      | ケア 1             |
| 5             | あいおいニッセイ   | コベルコ建機 1    | キングレコード 1   | <b>会計事務所関係 4</b> |
| 地方市役所(埼玉・     | 同和損保 3     | 富士通エクサス 1   | 日本生活協同組合    | <b>大学院進学 8</b>   |
| 東京を除く) 7      | 三井住友海上     | プリマハム 1     | 連合会 1       | 埼玉大学、東京大学、       |
| <b>金融</b> 62  | グループ 2     | 日本自動機工 1    | 大学入試センター    | 青山学院大学、拓殖        |
| りそなグループ 5     | アメリカン      | 三井精機工業 1    | 1           | 大学、大原専門学校        |
| 三菱東京UFJ       | ファミリー生命 2  | ニプロ 1       | 日本原子力研究開発   | 等                |
| フィナンシャル 2     | 日本生命 1     | 住友林業 1      | 機構 1        |                  |

## 就職支援セミナー

### 経済学部3年次の保護者を対象とした就職支援セミナーが経済学部で開催されました。(11月24日)

当日は秋晴れの好天に恵まれたむつめ祭の1日でした。札幌、秋田など遠くの方を含め、全国から約50名の保護者が参加され、皆さん熱心に耳を傾けメモを取っておられました。

最近の就職状況（特に埼玉大学経済学部の就職状況）、就職活動の流れ、保護者に期待されること、などについて説明が行われた後、活発な質疑応答が行われました。予定の2時間を大幅に超えて、午後5時近くまで続いたほどでした。さらに、2年次の保護者も参加されるなど、就活が家族の大きな課題になっていることが伝わってきました。

保護者就職支援セミナーは国立大学では珍しい企画であり、本学でも経済学部のみで開かれています。講師は経済学部OBで、本学で就職相談を行っている就職カウンセラー3名が担当しました。永年企業で採用や就職支援等に携わった経験が豊富なOBです。

大木 雄生男（国民生活金融公庫 OB）  
田坂 敏幸（三井住友海上火災保険 OB）  
松崎 健（富士通 OB）



熱心に聴きメモを取る参加者



セミナー風景

## ゼミナール連合会開催

埼玉大学経済学部ゼミナール連合会（ゼミ連）の代表を務めております眞壁 凌平と申します。

昨年度のゼミ連の活動内容について報告します。昨年度はこれまでの活動

とは角度を変え、就職活動支援企画に重点を置いた活動となりました。就職活動支援企画では経和会や就職支援課の方に協力していただき、2つの企画を実施することができました。1つ目に10月から3ヶ月連続で開催した「全3回就活セミナー」です。第1回セミナーは「良い就活、悪い就活」をテーマにパネルディスカッション形式で行い、第2回では「業界研究・企業研究」をテーマとし、社会構造・産業構造・雇用構造の変化を解説した上で、経済学部生や埼玉大生に相応しい企業例を紹介しました。そして「勝てる面接」をテーマに行った第3回セミナーでは約80名の学生を巻き込む大きな企画となりました。また1月には三井住友海上・埼玉りそな銀行の「OB・OG訪問」を開催し、学生が社員の方に気軽に質問できる機会を設けました。この他にも恒例となった「ゼミ紹介誌作成」や「卒業記念パーティ」も行うことができ、充実した活動を行えた1年となったと一同感じております。今年度もゼミ連は経済学部のためになる多くの企画を実施する予定です。ゼミ連の活動に興味のある方、特に1年生のご参加をお待ちしております。最後になりましたがこの場をお借りして、大変お世話になりました田坂経和会長をはじめ多くの方々へ御礼申し上げます。



眞壁ゼミ連会長の挨拶

## 「埼大ワールドカップ」を開催しました

埼玉大学全学留学生会主催の「埼大ワールドカップ」(フットサル大会)が、平成24年11月18日にレッズランドにおいて初めて開催されました。

この大会は、グローバルビジネスに必要な人的ネットワークを構築することや、留学生と企業人との「人と人のつながり」を構築することを目的として行われました。

今回は、ベトナム、マレーシア、韓国、ネパール、バングラデシュ、タイ、中国などから来ている留学生



約70名、(株)タムロン、(株)オカモト、岩崎電気(株)、さいたま YEG、埼玉りそな銀行などの企業から約40名の総勢約

110名が参加しました。

優勝が岩崎電気(株)チーム、2位がベトナム留学生チーム、3位がネパール留学生チームとさいたま YEG チームでした。



## グローバル人材育成推進事業 (特色型) に採択されました

埼玉大学では、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業 (特色型)」が採択されました。

グローバル人材育成推進事業は、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる「人財」の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する取組に対して重点的に財政支援されるものです。

埼玉大学では、この取組により、教養学部が先導的取組学部となり、「学士課程における深い教養」、「実

践的な課題解決能力」、「グローバルに活躍できる資質」、「多文化理解、日本理解を含む深い教養」を備えたグローバル社会で活躍できる人材育成を目指していきます。

具体的には、英語スキル教育の強化、多文化理解科目、日本理解科目の充実、単位取得を目指した2セメスター以上の海外留学、実践的な課題解決能力を備えるための海外インターンシップなどを行うこととしています。

## 「メリンちゃん」の誕生と着ぐるみデビュー

埼玉大学では平成21年の創立60周年を記念して、公募により当時の教育学部学生がデザインしたマスコットキャラクター「メリンちゃん」が誕生しました。

大学のカラー(ライトグリーン)を使い、才能が芽吹いていく新芽をイメージしました。

さらに昨年度、「メリンちゃん」の着ぐるみが作成され、平成24年8月24日のオープンキャンパスで“デビュー”しました。

訪れた女子高生はもちろん男子高生も一緒に記念写真を撮ったり握手したりするなど、「メリンちゃん」との交流を楽しみました。



# 埼玉大学 NOW

## 自分たちが できることを。

### 「Re・サイクリング」

東日本大震災はまだ終わらない。被災地で、今も精力的に活動しているサークルを一つ紹介したいと思う。自転車という一見、小さなものからで



福島県四倉高校の避難所に、メッセージカードと花の種をつけた自転車を届けた。

きるボランティアを行っている。大きなことをしようとするのではなく小さなことから始めることが大事なのだ。

東ティモールから届いた一通のメール。「現地の学生の通学手段としてどうにかして自転車を送れないかな？」こんなメールから私たちのサークルは誕生しました。大学の放置自転車を譲り受け自分らで修理し、東ティモールには計200台を届けました。東日本大震災の直後には「自分たちが何ができるか」を話し合い、自分らの強みでもある放置自転車を修理して届けることにしました。県内外の避難所に計139台を届け、その後も現地訪問や現地の小学校でのクリスマスイベントの企画など、私たちのモツ



いわき市久ノ浜第一小学校で行ったクリスマスイベントにて、自転車発電によるクリスマスツリー点灯を行った。



宮城県山元町に輸送した際の積み込みの様子。

トリーである「与えるで終わらないつながり」を大切に活動を続けています。これからも、自転車を通じた出会いとつながりを軸に活動していきたいと思っています。

## 第二回 サークル紹介

### 「お笑いサークル無印」

お笑いサークル無印は現在約15名(女性4名)ほどで活動しております！主に毎月開かれるライブを中心にネタをやっています、その様子はYouTubeにもアップしています。

また依頼があればイベントの司会などもやっており、埼玉大のミスコンの司

会は毎年無印のメンバーが勤めさせていただいています！OBにはプロの芸人になった方や、現在それを目指している方もいて、ゆるい雰囲気ながらもお笑いに対して真剣な面も持ち合わせているサークルです！



## むつめ祭 開催報告

今年で第4回を迎えるミス埼玉コンテスト。昨年に続き、浦和PARC

Oとコラボし、イベントを行ったり、浦和で行われる二七の市のステージイベント、その他多くの学外でのイベントに参加し、ついにFacebookのいいね！数が1000いいね！を超えた。これは他の大学のミスコンの中でも史上初の快挙である。他にも2chのまとめサイトにまとめられるなど、多方面で話題を呼んだ。当日も多くの観客が集まり、結果は理学部数学科の小久保寛子さんがミスに輝いた。



左から、経済学部経営学科4年 高橋美鈴さん、理学部基礎化学科1年 松永はるなさん、教育学部家政専修2年 松島加林さん、経済学部1年 吉村美耶さん、理学部数学科3年 小久保寛子さん。

## チュラローン コーン大学訪問

### 「長島ゼミ」



昨年12月に経済学部の長島ゼミ16名がタイのチュラローンコーン大学を訪ねた。現地の学生を前に英語でプレゼンをし、現地学生と市内観光などを行い、交流を深めた。慣れない英語での生活と、現地学生との知識の差を実感し、まだまだ勉強が足りないということに身にしみて感じた。しかし、言葉が伝わらないながらもタイの人々はとても優しく案内してくれた。タイでできた友人とのつながりと、英語でのプレゼンという貴重な経験は、ゼミ生の今後の人生において大切な記憶となるだろう。

# 同期会だより

## 39年卒同期会

幹事 増田 巖

私達は昭和39年3月、文理学部経済科を卒業した60人です。このうち10人が浄土の世界に移住しているのが現在50人です。年齢からみて移住者が多いと感じますが、高度成長期を戦い抜いた企業戦士の世界を反映しているかもしれません。現在、ほぼ仕事からリタイヤーしているようですが、従来の仕事上の付き合いや、町内、自治会等のしがらみから、なかなか抜け出せない人もいます。



私達クラスは、平成14年以來、毎年クラス会を実施しています。「毎年11月第3週金曜日午後」と決めており、昨年も11月16日東京メトロ表参道近くの某施設で開催しました。私達の年齢になりますと、本人の体調不良や親の介護で参加出来ない人も多く、年々減少傾向にあり、昨年は15人の出席に止まりました。このような状況から今後のことを協議しましたが、「従来通り続けよう」ということになりました。

クラス会ではたがいの近況が話題となりますが、殆どが通院しているので病気の話は極力避けることをルールとしています。散会后、それぞれ二次会やカラオケに出かけているようです。クラス会の出欠に合わせて各自から「近況」の報告を頂いており、都合が悪く、出席出来なかった方にも「近況報告」通信を作成して送っています。

昨年のクラス会には自宅で陶芸をしている同僚が、出席者全員に「ぐい飲み」を製作して贈って頂いたため、正月にはそれで祝杯をあげ新年を祝いました。

### 第7回 むつめゴルフコンペ報告

むつめゴルフコンペ幹事 大崎 鼎

平成24年11月21日、大宮国際カントリークラブで第7回むつめゴルフコンペが開催され、61名が参加しました。このコンペは、学部や年代を越えて幅広く埼玉の卒業生が集い、親睦と交流を深めることを目的に開かれ、以前はほぼゼロだった教育学部の卒業生が、今回は14名も参加しました。その他は、旧文理学部経済学科13名、経済17名、教養6名、工学8名、理工学部3名が参加しました。

優勝はむつめゴルフ会会長の大西利樹さん(工学部S42卒)。最高齢は76歳の北川忠さん(教育S34卒)。女性ゴルフアーは田島幸子さん(S43教育卒)

の一名のみで、今後の女性の奮起が期待されます。

次回の第8回むつめゴルフコンペは、平成25年10月23日(水)に大宮国際カントリークラブで開催予定です。参加希望者は事務局(048-858-9218)までご連絡ください。



以下、経済学部卒の参加者(敬称略) 松村雄(S38文理)、鎌田勝男・北村晃一・木暮裕児・小林勲・高橋達夫・西ヶ谷浩正・沼野芳夫(以上S42文理)、入野勝見・久保田尚武・永井孝一(S43文理)、星野幸彦(S44)、石田肇・大崎鼎・太田博・佐渡晋一郎・竹内洋・田中賢二・萩野弘一・細越博資(以上S45)、杵鞭弘恭(S46)、鈴木均(S47)、古賀行雄・小林千秋・松崎正代・若杉順一(S48)、手嶋毅・三村典秋(S57)

### 経済学部の大学院・経済科学研究科のOB交流会が都内で開催されました。(12月22日)

経済科学研究科の大学院生も私たち経和会の会員ですが、今まで院生OBの交流会を単独で開催したことはありませんでした。今般、院生OBの種原康雄さん、福島昇さん、石川忠義さんの3名が準備委員会を立ち上げ、あまり横のつながりのない院生OBに呼びかけたものです。

会には約30名のOBが参加しました。薄井経済学部長の挨拶に引き続き、前学部長の伊藤修教授(当時・財務省財務総合政策研究所上席客員研究員)による「バブル後日本の金融危機と金融政策」と題したご講演が行われました。どの方も大学院時代に戻って真剣に聞き入っていました。

講演会終了後は懇親会に移り、ひと時を楽しく過ごし、最後は田坂経和会長の締めでお開きとなりました。



伊藤 修教授

参加された皆さんから次回もぜひ開催し、OBの皆さんが携わっている専門領域での情報共有、交流を図りたいとの声が聞こえてきました。

3月末で定年退職等で大学を去られた先生方です。大変お疲れ様でした。

- 教授・手島俊一郎先生 経済政策論
- 教授・箕輪 徳二先生 経営財務論
- 教授・相澤 幸悦先生

現代金融システム論、現代資本主義論

## 私の交流録



経営コンサルタント会社  
星野 幸彦  
昭和44年卒業

### 生涯現役で「本物」志向

4年前の6月にサラリーマン生活を卒業し（古河電工）、現在は仲間と経営コンサルタント会社を設立し生涯現役を目指し主に中小企業の指導と社会貢献に勤しんでいます。

商売柄、多くのビジネスマンや経営者と交流しますが、成功されている方に共通しているのは、非常に勉強熱心で懐が深く、その奥にしっかりと芯を有し、お会いすると「何か気付きや刺激」を与えてもらえたり、勉強させていただけるといふことです。



スイスにて

埼玉時代は麻雀と囲碁に切磋琢磨し勉強はほとんどせずに、単位が足りず、卒業までに先生に就職が決まっているので何とか卒業させていただけだった記憶があり、当時のことを思い出すと汗顔の至り極まりない気持ちです。今思うと寛容で人情味があった埼玉には感謝の気持ちでいっぱい

ですが、一方、もつと何故勉強しておかなかったかと？悔いて反省しています。

先日、千葉大のアントレプレナーシップで建築家の安藤忠雄先生が学生に「大志を持つてリスクを恐れず早く親から自立して本物に果敢に挑戦せよ！」と声を大にして叫ばれました。振り返りますと、今までに政財界の有名な方、企業の幹部の方々の交流でこれは「本物」だ！と感じた時はその人の「オーラ」「人間力」を感じたときでした。安藤先生の「本物」とは周りに意識せずに、自分の理想、やりたいことに向かって勉強・努力していけば「オーラ」「人間力」が自然に培われるということではないかと思えます。因みにアントレプレナーや突出して成功している経営者には、本物が多いようです。

安藤先生は勿論ですが、私が名古屋時代にご指導いただいた囲碁の「羽根直樹」先生もその一人です。4年前に先生が本因坊を取得したのを機に先生を応援する会「翔の会」を東京で立ち上げました。現在は80名余りの会員が集まり先生との交流を楽しんでおります。先生の棋力（平成四天王の一人）は勿論、人柄、棋風、まさに「人間力」に魅力を感じて会員の多くが「本物」を享受しております。

最近、幸いにも、ビジネス現場で活躍されている埼玉の先輩後輩方に会います。数多くの諸先輩にお会いしてその問題意識の持ち方、気付き、等「本物」に少しでも近づけるよう努力して更なる人脈を築いていきたいと思っている今日この頃です。

H 25年 4月

## 恩師からの便り

### 思い出と近況

名誉教授 井上 清

経済学部では会計学に関する科目を担当しておりましたが（昭43・4～平07・3）、懐かしく思い出されるのは、20年間連続皆勤したゼミのスキー合宿のことです。

当初は現役中心の合宿でしたが、いつの間にかOB・OGが加わり、そこでの体験が世代を超える絆となって以仁会というゼミ出身者による組織を生むまでになりました（昭56）。

会の名に因んでJ・I・N・N・E・Tと呼ぶMLの開設（平06）、HPの開示（平10）など、会は組織のデジタル化を進めながら足元を固め、昨秋に開かれた隔年定期オフ総会ではフェイスブックへの試験的登録を決めています。

在職中、PCと並んで広く学生の間で流行ったのが車の免許の取得でした。講義の合間に、自分のは二種免だからタクシードも運転出来るゾと威張ったところ「先生ってそんなに不安定な職業ですか」と真顔の反応が返ってきて、面食らったことが

あります。

時は流れ、そんな免許も更新時に高齢者講習・予備検査を受ける歳になりました。昨年末、会場で検査用紙に向うと、経済学部での愉快的体験が鮮やかに甦ってきました。お蔭で結果はマイナス2・842点。激動の時代に躍進する経済学部へ、万を越す卒業生の皆さんと一緒に、もう暫く声援を送ればと願う今日この頃です。

\*この検査では+36点以上が赤点です。



# 学生時代からの交流

平成3年卒業 貝山ゼミ(公共経済学)

埼玉県庁 高橋 秀幸



「チューターやってくれないか」ゼミに入った大学3年生の時に貝山先生からこう依頼された。「チューター」とは、埼玉大学の留学生に対して授業を選択する際など学生生活全

般にアドバイスをを行う先輩学生のことです。相手は、中国からの女性留学生であった。私の中国語会話レベルはたどたどしいものなので申し訳なくも思ったが、先生から「いから引き受けなさい。大丈夫。」とやさしくも確固とした返答を受け、お引受けした次第である。

受けたからには、自分にできる精一杯のことを誠意を持ってやろうと思いい、彼女から相談や悩みを聞いたたり、経済・会計学について議論したり、彼女の生活面での手伝いとかいろいろと楽しくやらせてもらった。また、大学行事の一環で先生方、日本人学生や留学生と会津や銚子に視察旅行にも行き、交流を深めたりもした。ゼミやサークル活動等を通じて多くの留学生と知り合うことができた。

チューターをした彼女とは互いの卒業後も現在に至るまで親交が続いている。彼女

は今も県内で暮らし、いくつかの会社でキャリアを重ねながら、現在は外資系の某会社で総務経理部門で働いている。何年前には自己啓発のために通信教育でアメリカの公認会計士の資格をとったとのこと。会うと刺激を受ける存在である。

一方、自分は大学卒業後埼玉県庁で行政職員として様々な分野の仕事に携わってきた。現在は、埼玉県の重要政策の一つである発達障害児者支援施策などに携わる日々を送っている。

就業形態は人それぞれだが、仕事や余暇活動など生活のすべては人社会によって成

## 活躍する教授紹介

松本 正生 (まつもと まさお)

経済学部にも所属するスタッフとしてはやや異色で、政治学や選挙研究を専門にしています。したがって、マス・コミと共同で仕事をすることが多く、世論調査や選挙予測などにも関わっています。学会関係では、学外の研究組織として「サーベイ・メソッドロジー研究会」や「選挙調査研究会」を立ち上げ、研究大会やシンポジウムを開催してきました。さらに、2009年には「埼玉大学社会調査研究センター(SSRC)」を設立しました。

社会調査研究センターでは、調査方法の研究開発に取り組みとともに、さいたま市民を対象とする定例のオリジナル調査を毎年実施し、高い回収率を得ています。また、埼玉県をはじめとする地域の自治体から調査の委託を受け、結果の解析に基づく政策

り立っていることで、良き師、良き同僚、良き友など人間関係に恵まれば、より良い仕事や充実した生活を得ることができると思う。それを教えてくれたのが、ノミネーションを含めたゼミ活動であり、サークル活動であった。

埼玉大学経済学部の卒業生は他大学に比べて少ないが、それ故に、折角出会った同窓生との交流は、これから先も繋げていきたいと思う。中にはたましか会わない友人もいるし、暫く音信不通の友人もいる。この湧きあがった思いが冷めないうちに、少しでも交流を広げてみようと思う。

提言(研究機関誌『政策と調査』の発行)を行なうなど、ささやかな社会貢献活動も展開しています。

最近では、政府や自治体の仕事を頼まれることも多くなりました。2012年度には、総務省の「選挙の啓発のあり方等研究会」の委員や内閣官房国家戦略室の「原発の国民的議論に関する有識者会議」のメンバーなどを務めました。

2013年7月には、参議院選挙が実施されます。新聞やテレビでOB・OGのみなさまの目に掛かる機会がありましたら、どうぞご覧ください。



**松本 正生**  
(まつもと まさお)  
埼玉大学経済学部教授、  
同社会調査研究センター長。  
政治学博士。  
日本世論調査会顧問、(財)明るい選挙推進協会理事、  
彩の国NPO・大学ネットワーク代表など。  
主な著書は『世論調査と  
政党支持』、『政治意識図説』、  
『世論調査のゆくえ』など。

## 編集後記

今回は現役学生、卒業生及び教授陣の関連記事等新旧、年齢層も幅広く取り上げたりもしています。しかし、これはほんの一部に過ぎず、皆様も日頃、同期の友人と親交を温めているかと思えます。その中から、出来るだけ新たな方に登場して頂きたいので、お気軽に情報をいただければ幸いです。

## 24年度

# 優秀演習論文表彰

|       |       |                              |
|-------|-------|------------------------------|
| 最優秀論文 | 遠藤 那壽 | 「厚生年金基金制度—その過去、現在と今後の在り方—」   |
| 優秀論文  | 伊藤みなみ | 「葬儀マーケティングとイオン—葬儀の在り方をめぐって—」 |
|       | 工藤 駿  | 「信用保証制度に指摘される問題点の分析」         |
|       | 若杉 和枝 | 「障害者雇用形態に関する考察」              |